

平成23年度香取市の財務書類4表（概要版）

1. はじめに

地方公共団体の会計については、以前より、単年度の現金収支にかかる財政指標だけでなく、市が保有する資産や将来返済しなければならない負債などのストック情報をはじめ、行政サービスを実施するために要した費用など、財政状況を総合的かつ長期的に把握し、その状況をより明確にするため、企業会計的手法の導入が求められていました。

このような状況のなか、平成18年8月に総務省から「地方公共団体における行政改革の更なる推進のための指針」が示され、各地方公共団体は、財務書類4表（貸借対照表、行政コスト計算書、資金収支計算書、純資産変動計算書）と、関係する情報の開示に取り組むこととなりました。

また、この財務書類の整備の目的は、単に書類を作成・公表するだけでなく、市民等に対し、財政状況を適切に情報開示することや、庁内における行財政運営に活用する仕組みを併せて検討・実施することにあるといわれています。

香取市では、平成19年10月に国（総務省）が公表した「新地方公会計制度実務研究会報告書」の『総務省方式改訂モデル』に基づき、財務書類4表を作成しました。

2. 香取市の普通会計財務書類4表

(1) 貸借対照表（バランスシート）

借 方		対前年度 増減額	貸 方		対前年度 増減額
[資産の部]			[負債の部]		
1 公共資産	91,098,913	42,590	1 固定負債	39,753,213	658,290
2 投資等	9,294,408	1,193,205	2 流動負債	3,077,885	180,498
3 流動資産	10,310,740	3,651,906	負債合計	42,831,098	838,788
			[純資産の部]		
			純資産合計	67,872,963	4,048,913
資産合計	110,704,061	4,887,701	負債・純資産合計	110,704,061	4,887,701

- 資産総額は約1,107億円、対する負債総額は約428億円で、純資産総額は約679億円です。
- 資産総額については、公共資産において大きな増減はありませんが、投資等における特定目的基金の増加と、財政調整基金の積立て等により流動資産が増加したことから、約49億円の増となっています。
- 負債総額については、固定負債で地方債の臨時財政対策債等の増や長期未払金において、債務負担行為（電算システム使用料等）による支出予定額が増えたこと等の影響により、約8億円の増となっています。
- 純資産については、投資等や流動資産の増加により約40億円増えています。
- 市民一人当たりになると、資産は約133万円、負債は約51万円となっています。

※人口は、平成24年3月31日現在の83,194人を使用（以下同じ）。

(2) 行政コスト計算書

H23.4.1～H24.3.31(単位:千円、%)

区分	平成23年度	対前年度 増減額	対前年度 増減率(%)	構成比(%)
経常行政コスト a	27,361,763	1,616,408	6.3	
1 人にかかるコスト	5,883,797	△ 277,487	△ 4.5%	21.5
2 物にかかるコスト	6,614,477	891,390	15.6	24.2
3 移転支出的なコスト	13,444,953	774,192	6.1	49.1
4 その他のコスト	1,418,536	228,313	19.2	5.2
経常収益 b	729,770	△ 60,897	△ 7.7	
使用料・手数料等	729,770	△ 60,897	△ 7.7	
純経常行政コスト a-b	26,631,993	1,677,305	6.7	

- 経常行政コストは約274億円、経常収益は約7億円で、純経常行政コストは約266億円です。
- 経常行政コストは移転支出的なコスト（扶助費、補助費、繰出金等）が約134億円と全体の49.1%を占め、次いで、物にかかるコスト（物件費、維持補修費、減価償却費等）が約66億円で24.2%となっています。
- 人にかかるコストにおいては、職員人件費や退職手当引当金が減ったこと等により約3億円の減となっていますが、物にかかるコストが災害復旧経費や電算システム更改費用が発生したこと等から、約9億円の増となっています。また、移転支出的なコストについても災害復旧に係る下水道会計等への繰出金や子ども手当等の扶助費が増えたこと等により約8億円の増となり、経常行政コスト全体では約16億円の増となっています。
- 使用料・手数料等が減っているのは、震災の影響により施設使用料が減収したことによります。
- 市民一人当たりの純経常行政コストは、約32万円となっています。

(3) 純資産変動計算書

H23.4.1～H24.3.31(単位:千円)

区分	金額
期首純資産残高	63,824,050
純経常行政コスト	△ 26,631,993
一般財源	24,532,564
うち地方税	8,411,254
うち地方交付税	12,829,832
うちその他	3,291,478
補助金等受入	6,413,977
資産評価替えによる変動額	138,443
その他	△ 404,078
期末純資産残高	67,872,963

(4) 資金収支計算書

H23.4.1～H24.3.31(単位:千円)

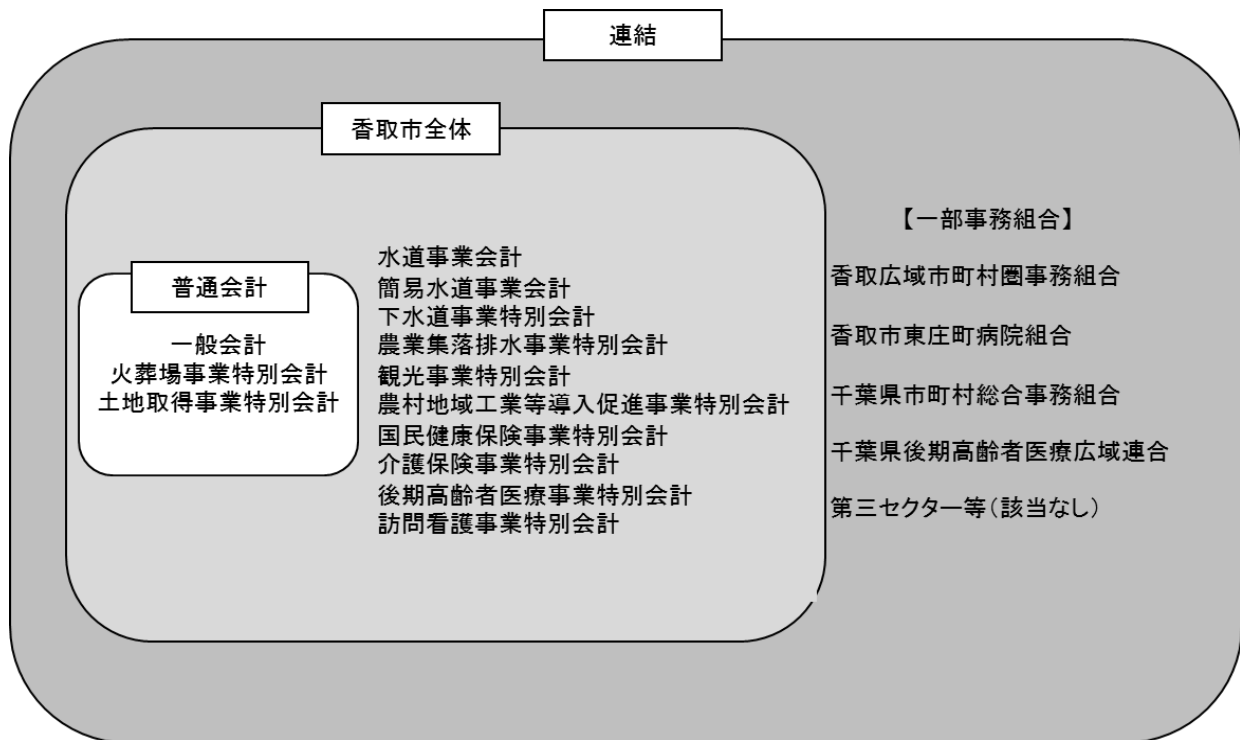
区分	金額
1 経常的収支額	9,332,525
2 公共資産整備収支額	△ 1,592,188
3 投資・財務的収支額	△ 5,470,201
当年度歳計現金増減額	2,270,136
期首歳計現金残高	2,424,667
期末歳計現金残高	4,694,803

- 純資産変動計算書は、貸借対照表の純資産の部に計上されている数値が、1年間でどのように変動したかを表しています。平成23年度の期末残高は、地方交付税等が増えたこと等から、約40億円の増となっています。
- 資金収支計算書は、現金ベースで1年間の資金の流れ（フロー）を表しています。平成23年度は、人件費の減や地方交付税（震災復興特別交付税）等が増えたことから、期末歳計現金残高が約22億円の増となっています。

3. 香取市の連結財務書類

連結財務書類は、普通会計に、水道や国民健康保険などの特別会計と、市が加入している一部事務組合を含めています。

《香取市における平成23年度の連結対象範囲》



連結貸借対照表（バランスシート）

H24.3.31現在(単位:千円)

借	方	対前年度 増減額	貸	方	対前年度 増減額		
[資産の部]			[負債の部]				
1	公共資産	140,740,726	△ 930,779	1	固定負債	64,227,370	△ 396,492
2	投資等	7,735,551	1,148,767	2	流動負債	5,712,953	242,537
3	流動資産	13,811,831	3,590,843	負債合計		69,940,323	△ 153,955
4	繰延資産	63,158	△ 10,555	[純資産の部]			
資産合計			162,351,266	3,798,276	純資産合計	92,410,943	3,952,231
					負債・純資産合計	162,351,266	3,798,276

- 資産総額は約1,624億円、対する負債総額は約699億円で、純資産総額は約924億円です。
- 市民一人当たりによると、資産は約195万円、負債は約84万円となっています。
普通会計一人当たりと比較すると、資産で約62万円、負債で33万円それぞれ増加しています。